

ミニディスクロージャー誌
平成16年9月期

ココロがある。コタエがある。

CONTENTS

はじめに
PROFILE

経営理念
ブランド・ステートメント

CHAPTER 1

新銀行の概要 1

地銀トップレベルの営業基盤 1

貸出金の状況
預金・預り資産の状況

地銀トップレベルの収益力 3

営業ビジネスモデル 3

営業体制
営業チャンネル

中小企業金融を通じた地域貢献 5

地元中小企業への円滑な資金供給
事業再生支援（経営改善支援）

健全性の維持・向上に向けた取組み 6

金融再生法開示債権
自己資本比率

CHAPTER 2

トピックス 7

CHAPTER 3

新銀行の地域社会貢献活動 8

CHAPTER 4

平成16年9月期の業績等 9

CHAPTER 5

ご相談・お問い合わせ先 10

CHAPTER 6

店舗のご案内 11

はじめに

皆さまには、平素より西日本シティ銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、幣行をよりご理解いただく一助として、平成16年9月期のミニディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いです。

西日本シティ銀行は、平成16年10月1日、西日本銀行と福岡シティ銀行の両行が合併して誕生いたしました。

私どもは、良質な金融サービスの提供により、お客さまとともに発展し、地域経済の発展に貢献する九州No.1バンクを目指しております。

これからも、お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、ご期待に応える提案をいたしたいと考えております。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

PROFILE

(平成16年10月1日現在)



西日本シティ銀行本店

商号 株式会社西日本シティ銀行
(THE NISHI-NIPPON CITY BANK, LTD.)

本店所在地
福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号

資本金 508億72百万円

店舗数 282か店

従業員数 4,675名

ココロがある。コタエがある。

～九州No.1バンクを目指します。～

私たちの精神です。(経営理念)

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを目指します。

お客さまに 一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行をめざします。

地域に 貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで広く信頼される銀行をめざします。

期待に応える 人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

私たちの約束です。(ブランド・ステートメント)

心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディーにお応えします。

夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。

新銀行の概要

地銀トップレベルの営業基盤

新銀行の営業基盤は、合併により地銀トップレベルへと拡大いたしました。この圧倒的な営業基盤を生かして、合併による統合効果をスピーディ且つ最大限に発揮し、更なる発展を目指してまいります。

総資産

6兆5,497億円

地銀 第6位

預金

(含む譲渡性預金)

5兆8,901億円

地銀 第6位

貸出金

4兆5,063億円

地銀 第5位

投資信託

2,072億円

個人ローン

(含む住宅ローン)

1兆4,773億円

地銀 第3位

個人年金保険

709億円

※地銀内順位については平成16年9月末現在の各行の公表資料を基に算出しております。

■貸出金の状況

地域に根ざした金融機関として、地元企業や個人のお客さまを中心としたお取引の拡大に努めていることから、九州域内の貸出金は全体の95.4%となりました。また、お客さまのライフステージに応じた住宅ローンなどのお借入ニーズに積極的にお応えしていることから、個人ローン比率は全体の32.7%となりました。

地域への貸出金残高

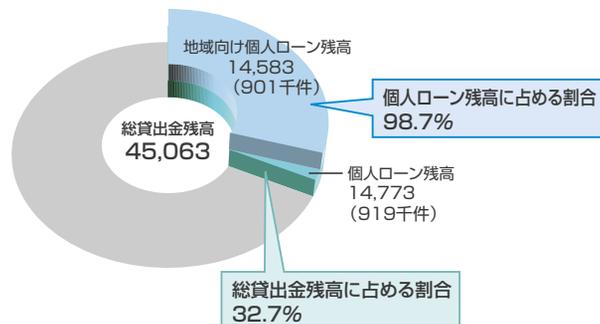
(単位:億円)



総貸出金残高に占める割合
95.4%

個人ローン(含む住宅ローン)残高

(単位:億円)



総貸出金残高に占める割合
32.7%

※計数は平成16年9月末現在の旧西日本銀行と旧福岡シティ銀行の単純合算です。
 ※“地域”とは“福岡県を中心とする九州域内(沖縄を除く九州各県)”を示しております。

■預金・預り資産の状況

地元を中心としたお取引の拡大に努めていることから、九州域内の預金は全体の95.9%、預り資産は全体の97.9%となりました。

地域の預金(含む譲渡性預金)残高

(単位:億円)



総預金残高に占める割合
95.9%

地域の預り資産残高

(単位:億円) ※預り資産とは、投資信託と個人年金保険の合計です。

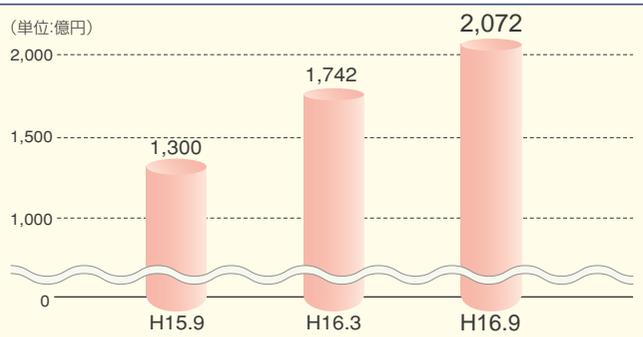


預り資産残高に占める割合
97.9%

お客さまの中長期的な資産形成のお役に立てるように、特に投資信託、個人年金保険のお取引の拡大に努めております。投資信託は平成10年12月、個人年金保険は平成14年10月の取扱い開始以降、順調に増加しております。

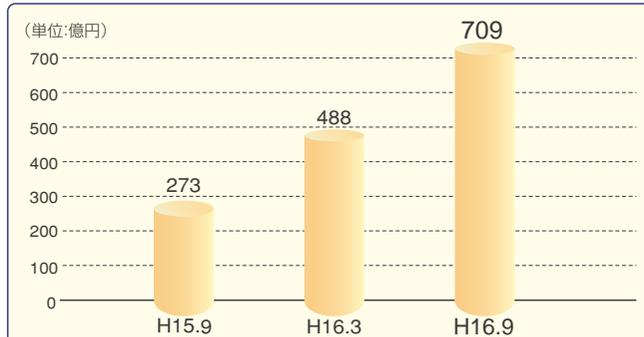
投資信託残高

(単位:億円)



個人年金保険販売累計額

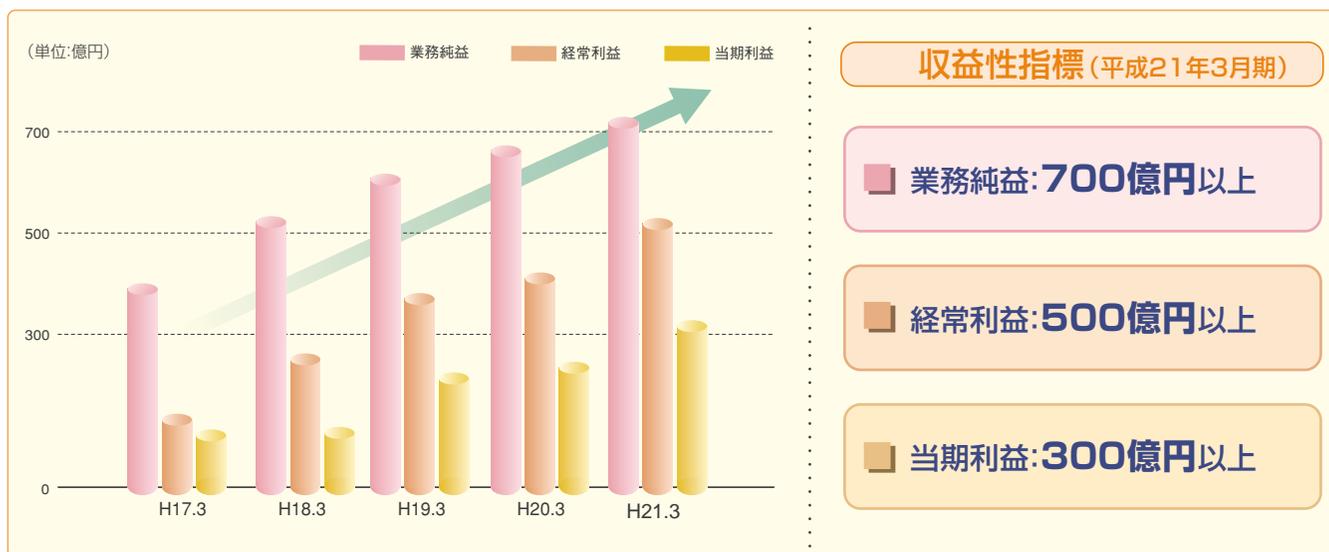
(単位:億円)



新銀行の概要

地銀トップレベルの収益力

旧両行がもっていた営業上の強みを組合せ、統合効果を最大限に発揮するとともに、経営の合理化を進め、更なる収益力の強化に努めてまいります。



営業ビジネスモデル

地域のお客さまから期待されている「温かさ(ココロ)」と「問題解決力(コタエ)」にこれまで以上にお応えしていくと同時に、単独行では一定の限界があった「営業収入の拡大」と「営業効率の向上」という課題を同時にクリアしつつ、既に旧両行がもっていた営業上の強みを組合せ、シナジー効果を最大限に発揮できる営業ビジネスモデルを構築いたします。

■営業体制

お客さまのニーズにきめ細かく対応できる金融サービスを展開するため、マーケットを法人と個人に分け、お客さまの事業規模等に応じたセグメントに区分し、各セグメントに適応した営業体制を整備いたしました。また、福岡・北九州・筑後・筑豊・宮崎の5地区には地区本部を設置し、営業店との連携強化を図っております。

■営業チャネル

福岡県内の主要経済圏である福岡・北九州・久留米に、中核となる「3営業部（本店営業部、北九州営業部、久留米営業部）」を設置するとともに、地域の営業ユニットであるブロック単位にブロック長店を設置し、傘下の営業店と連携しながら、高度なソリューション営業ときめ細やかなリレーション営業を両立させてまいります。また、「リテールビジネスセンター（RBC）」、「クイック・ビジネスローン（QBL）」、「ローン営業室」など、従来から旧両行が展開していた特色ある営業チャネルについては、これまで以上に拡充・強化してまいります。

●店舗網

全店舗数282か店を有し、福岡県を中心として九州域内に271か店を配置しております。（平成16年11月末現在）

特色ある営業チャネル

●リテールビジネスセンター（RBC）

中小企業や個人事業者のための融資専門窓口として、福岡市と北九州市にリテールビジネスセンターを設置し、専門スタッフによるスピーディな対応とタイムリーな情報提供を行っております。

●クイック・ビジネスローン（QBL）拠点

事業性融資に自動審査システムを活用した「無担保」「第三者保証人不要」「翌日回答（原則）」を特徴とするQBLの取扱いを行っており、QBLの取扱い専門拠点は、長崎銀行の拠点も合わせると、九州各県に配置しております。担保や第三者保証人がないため、従来は銀行の融資対象となくにかかった事業者・企業の皆さまへ、円滑な資金供給を行っております。

●ローン営業室

お客さまからのローンのご相談に「いつでも」「早く」「簡単」「便利」に対応できるよう、本店をはじめとして、合計5か所にローン営業室を設置し、住宅ローン、住宅金融公庫、消費者ローンなど、ローン全般のご相談にお応えしております。

●NCBいつでもプラザ（インストアランチ）

大型ショッピングセンターに平日は20時（一部店舗は18時まで）、土日祝日は17時までご利用いただける窓口をオープンしております。

●ATMコーナー

店舗内、店舗外ATMコーナーを837か所（1,654台）に設置しております。（平成16年11月末現在）

また、他行提携ATMについては十八銀行、佐賀銀行、筑邦銀行、長崎銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、熊本ファミリー銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行のATMコーナーからのカードによる出金は手数料無料でご利用いただけます。

※ご利用時間帯によっては時間外手数料をお支払いいただく場合がございます。



●コンビニATMサービス

ローソン・am/pmとの提携により平日24時間ご利用いただける「コンビニATM」サービスを展開しております。

●ダイレクトチャネル

電話・携帯電話・インターネットを利用して、場所や時間にとらわれることなく銀行取引がご利用いただけるサービスを提供しております。

中小企業金融を通じた地域貢献

■地元中小企業への円滑な資金供給

地域に根ざした金融機関として、地域の中小企業のお客さまの健全な資金ニーズにお応えし、円滑な資金供給等を通じ地域経済の発展に尽くしてまいります。中小企業向け貸出金は、全体の86.5%となりました。また、地域向け貸出金残高に占める地域の中小企業向け貸出金比率は88.1%となりました。

中小企業向け貸出金残高

(単位:億円)



総貸出金残高に占める割合
86.5%

地域の中小企業向け貸出金残高

(単位:億円)



地域向け貸出金残高に占める割合
88.1%

※中小企業…資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業・サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業者

■事業再生支援(経営改善支援)

リレーションシップバンキングの機能強化の精神に沿って、ビジネスマッチング等情報営業を通じた経営相談・事業支援等の機能強化を図るとともに、企業再生分割子会社を含む外部専門家との連携を図りつつ、本部スタッフの直接渉外による経営改善スキームの策定やアドバイス提供等により事業再生支援を実践してまいります。

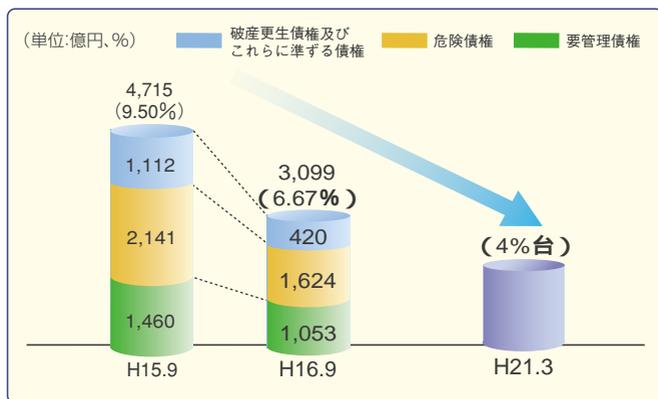
健全性の維持・向上に向けた取組み

※計数は平成16年9月末現在の旧西日本銀行と旧福岡シティ銀行の単純合算です。
 ※“地域”とは“福岡県を中心とする九州域内(沖縄を除く九州各県)”を示しております。

■金融再生法開示債権

金融再生法に基づく開示債権の平成16年9月末残高は旧両行合算で3,099億円となり、前年同期比1,616億円減少いたしました。開示債権に対しては不測の事態に備え、担保・保証・貸倒引当金により2,448億円をカバーしており、保全率は78.99%となりました。

開示債権残高の推移



※ ()内は不良債権比率を表しております。

●金融再生法による開示債権の定義

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等により経営破綻した債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

■危険債権

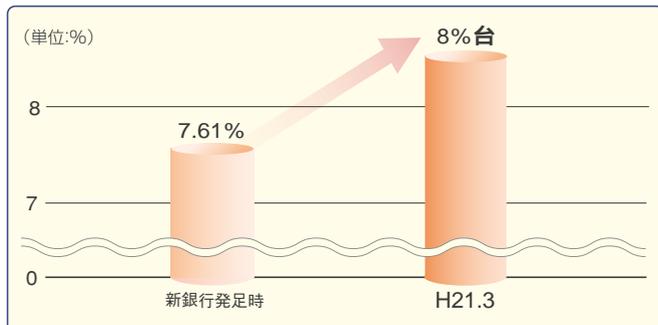
債務者が、経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

■要管理債権

3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権

■自己資本比率

新銀行発足時の自己資本比率は、7.61%となりました。今後、合併による統合効果をスピーディ且つ最大限に発揮し、期間利益の積み上げ等により、一層の自己資本の充実に努めてまいります。



当行は、自己資本の充実および低コストの資金調達を目的として、200億円の第1回無担保転換社債型新株予約権付社債を平成16年12月に発行いたしました。新株予約権の行使が進んだ場合には、0.5%程度自己資本比率が向上する見込みです。

■合併当日のセレモニー

平成16年10月1日、新生西日本シティ銀行のスタートにあたり、本店では、来賓の方々による行名板の除幕式が行われました。



■新銀行ホームページがオープンしました

各種商品・サービスに関することなどホームページをご覧ください。
ホームページ▶<http://www.ncbank.co.jp>



■経営者賞

昭和47年に設立した「財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団」では、地域経済の発展に特に優れた実績を上げている中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しております。
財団設立以来の受賞者は119名で、受賞企業のうち26社が上場または店頭公開を果たしております。



第31回経営者賞

■ユニセフ活動の支援

昭和45年「日本ユニセフ協会九州本部事務局」を設け、以来、世界の恵まれない子供たちを援助するユニセフ活動を支援しております。



■「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」シリーズ

昭和54年にスタートし通巻90号となったこのシリーズでは、地元の身近な話題やゆかりの人物を取り上げ、わかりやすく紹介しております。



■アジア貢献賞

昭和60年に設立した「西日本銀行国際財団」を通じ、アジア諸国との国際文化交流事業を推進し、国際相互理解の促進と国際的人材の育成に努めています。平成11年、アジアとの国際交流に貢献している方の活動を顕彰するアジア貢献賞を創設。以来、毎年表彰を行い国際交流の発展に貢献しております。

※「西日本銀行国際財団」は「西日本国際財団」へ名称変更予定です。



第5回アジア貢献賞

■プロムナードコンサート

昭和61年から本店エントランスホールで毎月開催しているコンサートは、地域の皆さまに親しまれ、公演数は228回となりました。



■ミュージカルへの支援

ロングラン公演を続けている劇団四季ミュージカル「キャッツ」、
「ライオンキング」や「オペラ座の怪人」等の数々の作品を協賛サポートしております。



© RUG

撮影:下坂 敦俊

「オペラ座の怪人」

■平成16年9月期の業績等

(単位:億円)

総資産・預金(含む譲渡性預金)・貸出金	旧西日本銀行	旧福岡シティ銀行
総資産	39,140	26,357
預金(含む譲渡性預金)	34,662	24,238
貸出金	26,866	18,196
個人ローン(含む住宅ローン)	8,440	6,333
預り資産・公共債保護預り残高		
投資信託残高	1,475	596
個人年金保険販売累計額	553	156
公共債保護預り残高	249	130
損益の状況		
業務純益	163	237
コア業務純益	150	107
経常利益	75	△22
中間(当期)純利益	45	△44
自己資本比率		
単体	9.61%	5.00%
連結	9.84%	5.55%
金融再生法開示債権		
金融再生法開示債権合計	1,934	1,164
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	292	128
危険債権	1,045	578
要管理債権	596	457